

2020 年度実施概要

教育委員会名

大牟田市教育委員会

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

取り組みの概要

1 推進協議会等の実施状況

- 年間計画に基づき、年間 17 回の推進協議会・連絡会議・ワーキンググループ会議を行った。

2 特例校の申請状況（申請内容・校数・結果）

- 申請内容：小学校 3 年生～6 年生において、総合的な学習の時間の一部に替えて、新たな領域「海の時間」を新設した。「海の時間」においては、地域にある「有明海」や世界文化遺産「三池港」での体験活動や調査活動等を通して、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を活用する」視点から、海と人との共生のためにはどうすればよいかということについて探究的な学習を行う。
- 申請校数：1 校（大牟田市立天の原小学校）
- 申請結果：認可

3 公開研究会・授業研究会・教員研修会・発表会等の実施状況

- 「海洋教育推進校学習交流会」（令和 2 年 9 月 30 日）オンライン会議
 - ・市内の推進校である 4 小学校の 6 年生が、各校の現在の取組や今後の取組について伝え合い、情報交流をするとともに、お互いの交流を深めた。
- 「海洋教育オンライン合同授業」（令和 2 年 10 月～令和 3 年 2 月）
 - ・3 年～6 年の各学年で 3 回ずつ、合同オンライン授業を行い、それぞれの学校の取組を交流し、海の環境保全、三池港の利用、海の共生など、地域の特性を生かした学習活動について理解を深めた。
- 「『三池港』合同見学」（令和 2 年 11 月 17 日）
 - ・推進校合同による「三池港」の見学と港内クルージングを行い、「海を利用する」視点から三池港の歴史や働きについて学習する。
- 「海洋教育こどもサミット 2021in おおむた」（令和 3 年 1 月 22 日）
 - ・九州・沖縄地区の海洋教育推進校 8 校によるポスターセッションやパネルディスカッション等を通して、海洋教育の学習成果を交流するとともに、海と人との共生についての理解・考え方を深めた。
 - ※大牟田市の推進校 4 校の代表児童は、文化会館で意見交換を行い、他の学校は、オンライン会議で行った
- 「連絡会議」「ワーキンググループ会議」での研修会（随時）
 - ・本年度の取組内容や来年度の海洋教育推進に向けて推進校の職員が話し合いを行い、海洋教育で育成する資質・能力について共通理解するとともに、来年度のカリキュラム編成について各学年の方向性について協議を行った

4 外部機関との連携

- 「九州・沖縄海洋教育連絡協議会」（令和 2 年 9 月 8 日：オンライン会議）
 - ・九州・沖縄における「海洋教育パイオニアスクール」各校の学校間交流を通して、今後の各地域に

における海洋教育の充実を図った。(九州・沖縄地区小学校・教育委員会 9 団体の参加)

- 海洋教育の 4 校合同実践取組におけるゲストティーチャーとしての連携
 - ・「有明海干潟観察会」：世界文化遺産『三池港』と有明海を学ぶ会
 - ・「『三池港』合同見学」：国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所

5 地域・保護者を対象とした報告会等の実施状況

※本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、地域・保護者を対象した報告会・発表会や授業公開は実施していない。

6 その他教育委員会としての取り組み

- 本市教育委員会主催の「ユネスコスクール・ESD 全国実践交流会 in 大牟田」(令和 2 年 10 月 31 日開催) 第 2 分科会「SDG 14・15 と ESD」を設定し、海洋教育の実践について発表・協議する場を設け、報告を行った
- 第 8 回「全国海洋教育サミット」に参加し、推進校児童が市内の取組を全国に発信した。(オンライン会議)

活動参加校名

1. 大牟田市立みなと小学校
2. 大牟田市立天領小学校
3. 大牟田市立天の原小学校
4. 大牟田市立駛馬小学校